



並木中等story

令和5年1月24日号

人の言動は4つの床から(1)

今日は教育の専門家木下晴弘先生の講義から学んだ内容です。

“人の発する言葉や行動は4つの床に源がある”と先生は話しています。その床とは次のものです。



①愛されたいという床（個人の欲から発せられるもの）

②防衛反応の床（嫌なことや苦痛から逃れたいという考えから発せられるもの）

③自分に対する慈愛の床（あるがままの自分でいいのだと真の姿をとらえようとする考えから発せられるもの）

④他人に対する慈愛の床（他者のその人らしさを尊敬しようという考えから発せられるもの）

私自身の言葉を4つの床から分析してみると、①の愛されたい床から発せられるものが多く、次いで②でした。どうしても自己中心的な面が多いことを気づかせられ、反省しています。また、①と②、①と④が混ざっているような言動もあり、この視点で心の有り様を見ることにより、自分自身を理解するのに有効に思えました。

1月25日号に続きます。

《祝 エコノミクス甲子園県大会3連覇！》

全国高校生金融経済クイズ選手権（エコノミクス甲子園）茨城県大会がオンラインで開催され、4年の青葉さんと松本さんのチームが優勝、小林さんと遠藤さんのチームが準優勝しました。優勝チームは2月に開催される全国大会に出場します。おめでとうございます。